



「イスではなく浮遊りの床に座る暮らしに慣れていました」と話すご主人。昔ながらの家族団圓の風景がここにある



すいすいとハシゴをのぼる子どもたち。「子どもたちのために」と作ったハシゴだが、ご主人もはしごを使い2階へ行くことも多いそう



西洋流の壁は消臭効果や調湿効果などがあり、健康的な暮らしを実現できる



福岡市在住 Aさんの住まい

新築だけどどこか懐かしい古民家のような新居が完成

住み慣れたマンションのすぐ近く。お子さんたちのお散歩の途中で見つけた土地にご夫妻の夢だった古民家のような心も身体も健やかに暮らせる家が完成しました。

かな？と思っていたら、ある日更地になっていて、売地になっていたので、すぐに電話をしました」と、ご主人。電話を掛けたのは、その土地を取り扱っていた「ハウズランド社」。「チラシを見せただけいなら、もともと好きだった古民家風の家でした。モデルハウスを訪れてみたら、ドストライクで迷うことはありませんでした。Aさんご夫妻が気に入ったのは、同社のモデル住宅「風のくら」。「土間があって、浮遊りの床に座る生活に慣れていました。土間には夫婦の共通の趣味であるバイクを置いて、そのバイクを眺めながらお酒を飲むのが夢だったんです。「風のくら」はそんな私たちの夢を叶えてくれると直感しましたね」とご主人。玄関を入ってすぐの土間にはご主人のバイクが置かれており、すでにその夢は現実のものとなったようだ。



この家に越してきた記念日と子どもたちの手形を残した

福岡市内でありながら、自然豊かな場所に行むAさんご一家のご自宅。新築でありながら、どこか懐かしさを感じる落ち着いた佇まいの家だ。Aさんご一家は、ご主人の実家にも近いくすぐ近くのマンションで暮らしていたが、いずれ家を建てたいと考えていたという。「子どもたちと散歩をしていたときのこと。この場所に古民家がありました。この家、売りに出さない

土地との出会いをきっかけに理想のビルダーに巡り合う！



屋根には瓦をのせ、縁板をつける—日本家屋の伝統的な造りの外観。土間にはご主人のバイクが置かれている。「居間からも2階にもバイクが見えるのが嬉しい」とご主人は言う